

平成26年度 事務事業評価シート

平成25年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	防災施設の整備・充実					継続						
コード	25	-	14	-	01	-	00	予算事業名	防災施設設置管理			
担当部署	総務部	防災危機管理課	防災担当	予算事業コード	会計	10	款	9	項	01	目	02

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け(太枠内)		位置付けなしの場合	法令による実施義務	義務ではない
基本目標(章)	6章	人と人とのつながりを感じ、安全で安心して暮らせるまち	実施計画事業名	防災施設の整備・充実
方向性(節)	2節	安全で安心な暮らしの確保	個別計画等の名称	川越市地域防災計画
施策	1	防災体制の整備	当事業に関連する事務事業	なし
細施策	2	災害応急対策の充実		
事業実施の根拠となる法令・条例等	災害対策基本法			

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	全ての市民を対象に災害時において罹災した市民等の生活に必要な飲料水・食料・生活必需品の円滑な供給を行う。また、災害情報の伝達手段として防災行政無線などを確保する。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	毎年度、防災行政無線及び災害用給水井戸の保守点検・維持管理を業務委託する。また、市内14箇所の備蓄庫及び市立小中学校と、市立高校(55校)の備蓄品保管室の備蓄を実施する。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
予算額	37,009	34,735	57,484	50,777	60,488	
(26年度予算額大幅増/減の理由)						
事業費 A	33,408	33,404	53,381	45,863	60,488	60,488
人件費 B	3,669	3,669	5,136	8,804	8,804	8,804
総コスト(C = A + B)	37,077	37,073	58,517	54,667	69,292	69,292
正規職員(1年間の従事人数)	0.50人	0.50人	0.70人	1.20人	1.20人	1.20人
臨時職員(1年間の従事人数)						
国県支出金 D	403					
その他特定財源 E	12	12	12	12	12	12
市の財政負担(= C - D - E)	36,662	37,061	58,505	54,655	69,280	69,280

26年度、27年度の事業費、人件費は見込額
臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

評価指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度目標値	将来目標値
成果 備蓄品保管室設置数	%	100.0	100.0	100.0	(目標)		年度
指標の定義・説明	備蓄品保管室設置校/55校 × 100						
成果 災害用給水井戸の保守率	%	100.0	100.0	100.0	(目標)		年度
指標の定義・説明	修繕完了/修繕発生率 × 100						
成果 情報伝達手段数	個	4.0	6.0	10.0	(目標) 11.0 (実績) 12.0	13.0	26年度 13.0
指標の定義・説明	市民への防災情報伝達手段数						
成果 防災行政無線の保守率	%	100.0	100.0	100.0	(目標) 100.0 (実績) 100.0	100.0	年度
指標の定義・説明	修繕完了/修繕発生率 × 100						

指標に基づく評価

平成25年度は、地域防災拠点と各避難所の通信を確保するため、簡易デジタル無線を導入した。また、JCN関東と防災情報等の放送に関する協定を締結し、災害時の情報伝達手段の確保を進めた。

5. 事業の実施を通じた分析

(1) 現在の課題と状況	効率性に課題
災害時の情報伝達手段は広く確保できているが、それぞれ発信手続きを個別に行う必要があり、緊急時により適切に対応するには発信手続きを一元化する必要がある。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	防災施設の整備充実を推進していくことは、災害発生時の市民生活の安定を確保するために重要な役割を担っている。

平成26年度事務事業評価 方向性提示シート

所管部署		総務部				防災危機管理課	防災担当
事務事業名称		25	14	01	00	防災施設の整備・充実	
今後3年間の方向性	26年度	継続					
	27年度	継続					
	28年度	継続					

防災施設設置管理業務

防災施設設置管理業務では、市内の防災体制の整備を備蓄物資や備蓄品保管室、災害用給水井戸、防災行政無線の整備などハード面からアプローチしていくものです。

過去5年間の事業別決算状況については次のとおりです。

目 節	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算	H25決算
防 災 費					
報 酬					
賃 金					
報 償 費					
普 通 旅 費					
需 用 費	9,468,252	8,557,745	11,740,871	18,501,343	15,390,968
消 耗 品 費	6,442,537	6,054,489	8,364,004	13,281,990	13,007,284
燃 料 費					
食 糧 費					
印 刷 製 本 費					
光 熱 水 費	750,790	779,933	794,496	851,436	934,711
修 繕 費	2,274,925	1,723,323	2,582,371	4,367,917	1,448,973
賄 材 料 費					
医 薬 材 料 費					
被 服 費					
役 務 費	854,848	643,159	1,486,465	744,609	459,125
通 信 運 搬 費	335,098	335,299	361,545	380,519	373,025
手 数 料	519,750	307,860	1,124,920	364,090	86,100
筆 耕 翻 訳 料					
保 険 料					
委 託 料	19,434,450	18,489,450	18,457,950	22,146,600	18,361,350
業 務 委 託 料			598,500	4,488,750	1,753,500
設 計 ・ 管 理 委 託 料					
施 設 ・ 備 品 管 理 委 託 料	19,434,450	18,489,450	17,859,450	17,657,850	16,607,850
使 用 料 及 び 賃 借 料	822,254	831,294	831,294	832,614	832,614
工 事 請 負 費	4,389,000	4,457,250		6,735,750	
原 材 料 費					
備 品 購 入 費		403,908	837,900	4,348,365	10,746,635
負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	25,350	25,350	49,750	72,350	72,350
貸 付 金					
積 立 金					
防 災 施 設 設 置 管 理 計	34,994,154	33,408,156	33,404,230	53,381,631	45,863,042

・H24から備蓄品のカンパンを缶入パンに切り替え。
 ・自治会長貸与用防災ラジオを購入
 ・帰宅困難者対策用 カラーメイト 他

被災地支援物資分増
 おかゆ・カンパン・アルファ米

防災行政無線音達調査業務委託分 増

防災行政無線音達調査業務委託分 増

川越市防災行政無線基本計画策定業務委託分 増

防災行政無線子局
 移設工事 2件
 電源改修工事 1件

防災行政無線子局
 移設工事 2件
 避難所案内標識
 移設工事 1件

スモークマシン
 煙体験ハウス 購入

防災行政無線移動系子局
 中央・南・北公民館分 購入

※別資料有り

防災行政無線子局
 移設工事 1件
 増設工事 1件
 名細備蓄庫雨水流出対策工事 1件

災害対策用備蓄品
 パーテーション 購入

支出のうち主なもの及びその用途は次のとおりです。

- 需用費

 - 消耗品費

 - 缶入パンやアルファ米などの備蓄食料や、その他日用品などの備蓄物資購入

 - 修繕費

 - 水害対策用排水ポンプや、災害用給水井戸、防災行政無線等の修繕

- 委託料

 - 業務委託料

 - 防災行政無線のデジタル化に向けて、平成23、24年度には難聴地域調査業務委託を実施、平成25年度には基本計画策定業務委託を実施

 - 施設・備品管理委託料

 - 災害用給水井戸及び防災行政無線の維持管理業務や市内備蓄庫の除草業務委託を実施

- 使用料及び賃借料

 - 防災行政無線子局及び高階第2備蓄庫の土地使用料

- 工事請負費

 - 多くは防災行政無線子局の移設工事

- 備品購入費

 - 3万円を超える備蓄資機材（避難所用パーテーションなど）の購入
※平成25年度予算が大幅に増加している点については、川越市自治会連合会から指定寄付があったため。購入した物品の内訳については、別紙寄付金用途のとおりです。

主な事業内容については次のとおりです。

- 備蓄品の管理・充実

 - 川越市の備蓄庫は市内14箇所に設置され、災害時には各避難所等で不足する物資を搬入することとしていますが、各避難所においても備蓄品保管室を学校の余裕教室等を活用し設置させていただき、食糧であれば2,000食程度を応急対応分として備蓄しております。

 - 備蓄食料は5年保存になるため、毎年カンパン・おかゆ・アルファ米を購入し、入れ替えています。そのうち、カンパンについては平成24年度入替から、より食べやすくアレルギー対応となっている缶入パンに切り替えており、単価上昇により支出額が上がっています。

 - その他、プライバシー保護のための避難所用パーテーションや、平成25年度には要援護者対策として可搬スロープ、地域防災拠点と避難所間の通信手段確保としてのデジタル簡易無線機などを購入しています。

災害用給水井戸の維持・管理

市内22か所に配置されている災害用給水井戸は、災害時の飲用または生活用水としての活用を見込んでおり、維持管理が不可欠となっております。毎月の動作点検と年1回の水質検査をすべての災害用給水井戸に行い、問題の発生した給水井戸やポンプ用の発電機などは修繕などおこなっております。

川越市防災行政無線の維持・管理

市内285か所に設置されている川越市防災行政無線の子局（スピーカー）は設置から20年以上が経過し、当初の設計時と比べて高層建築物が増えたことなどから難聴地域が増加しています。また、電波法の改正により、現在のアナログ方式からデジタル方式へ移行する必要があります。

平成25年に、同無線設備のデジタル化に向けた基本計画を業務委託により実施しました。今後の予定としては、平成26年にデジタル化を行うことに関する評価を実施、平成27年に実施設計を行い、平成28年から5年程度をかけデジタル化を行う予定としています。

災害備蓄庫設置状況

No.	年度	備蓄庫名	工事名	備蓄庫名	設置場所	構造	規模	金額(千円)	請負業者	
1	S 54	仙波浄水場備蓄庫	災害対策用備蓄材倉庫新築工事	大仙波845 仙波浄水場内		鉄骨平屋建	60 m ²	4,990	㈱関根商店	
2	S 56	仙波備蓄庫	川越市災害備蓄庫新築工事	仙波町4-18		鉄筋コンクリート平屋建	117 m ²	13,800	㈱関根商店	
	S 57		同上 備蓄庫内部棚設置工事	同上				915	㈱吉野鉄工所	
3	S 57	岸町備蓄庫	川越市災害備蓄庫新築工事	岸町3-28-9		鉄骨平屋建	142.4 m ²	14,300	鉄建設㈱	
4	S 58	名細備蓄庫	同上	大字鯨井1118-1		鉄筋コンクリート平屋建	108 m ²	15,500	㈱山口建設	
5	S 59	古谷備蓄庫	同上	大字古谷上字笹原2968-3 外		鉄筋コンクリート平屋建	95.6195 m ²	15,000	㈱若海工務店	
6	S 60	大東備蓄庫	同上	南台3-5 ふじみ公園内		鉄筋コンクリート平屋建	66.96 m ²	10,100	㈱捷和組	
7	S 61	福原備蓄庫	同上	今福508		鉄筋コンクリート平屋建	48 m ²	8,300	桜井建設㈱	
8	H 4	高階第1備蓄庫	川越市高階第一災害備蓄庫新築工事 (土のう等)	砂77-1 (高階土地区画整理事務所地内)		軽量鉄骨造平屋建	59.62 m ²	2,884	立川ハウス工業㈱	
9	H 4	高階第2備蓄庫	川越市高階第二災害備蓄庫新築工事 (土のう等)	砂649-3 (葛貫利子所有地)		軽量鉄骨造平屋建	52.17 m ²	2,936	立川ハウス工業㈱	
10	H 4	霞ヶ関北備蓄庫	川越市災害備蓄庫新築工事	伊勢原町5-5-4		鉄筋コンクリート平屋建	53.5 m ²	15,193	㈱野村組	
11	H 5	高階第3備蓄庫	同上	藤原町18-6		コンクリート平屋建	13.8 m ²	2,394	嶋田建設工業㈱	
12	H 6	南古谷備蓄庫	同上	並木西町16		コンクリート平屋建	13.8 m ²	2,327	㈱岡島電気商会	
13	H 8	宮下備蓄庫	同上	宮下町1-21-3		鉄骨造2階建	309.8 m ²	49,440	小名木建設工業㈱	
14	H 24	名細公園備蓄庫	(名細公園新設時に併設)	鯨井1216		鉄骨造	340 m ²	—	公園整備課施工	
計								14 棟	158,079 千円	(No.14は除く)

【資料2.4】「備蓄品の状況」

備蓄品の状況

(1/2)

区分	種別	内容	数量	単価	仙波	名瀬	古谷	大東	黒原	岸町	仙波浄	高階一	高階二	高階三	鹿ノ間北	南古谷	名瀬公園	備蓄品保管室	合計		
食料	カンパン	128食入・5年保存	14,080	7,040			6,400	4,096						3,840	3,840				98,816		
	缶入りパン	5年保存													7,680			11,264	18,944		
	アルファ米	50食入・5年保存	3,000	3,000															56,000	62,000	
	お好み焼	50食入・5年保存					7,000	3,000	8,500									7,200		7,200	
	栄養調整食品 (カロリーメイト)	3年保存																		1,140	
	瓶入りお茶	25年保存																		430	
	日用品セット	1世帯用	230	120				80								2				123	
	日用品セット	10人用、箱入り	5	200																800	
	下着セット	上1下2、真空P																		62	
	香皂	男女・子供用60個付	6																	56	
	洗剤	5kg・10枚入、真空P	3,630	2,200			1,800	1,000	1,200	950					90	1,010	100		5,600	17,580	
	洗剤	洗濯粉	250					39												570	1,135
	強力ライト	単1.6個使用	165	100			50	50	47						15	50	15			350	
	非常用乾パン	ローソク4本付	78	1			100		39						48	48	36			50	
	非常用乾パン	安全キャンドル	50																	4,960	
乾電池	単1	860	2,000			2,000													1,600		
乾電池	単2		800			800													30,000		
乾電池	単3	7,500	3,800			1,800	2,000	1,000						1,000	2,000	1,000			50,100		
トイレットペーパー	100巻入		5			4													285		
トイレットペーパー	48巻入(山崎コホ-)	40																	15		
三角巾	4年保存	200	670			50	100	100	50					50	100	50			3,200		
三角巾	105×105×150mm																		3,000		
紙おむつ	大人用15枚入り																		189		
生理用品	子供用48、58、68、80、92枚入																		258		
生理用品	40巻入、36個人用(巾13-)																		620		
カムテープ	50mm×25m	100	20			20	9	10	10										600		
磁気テープ	磁気テープ	400	250				50	50	60										600		
ダンボール箱		200																	1,380		
防災用品	SF救急箱1号 医療キット		7			1															
防災用品	消防器具一式	9	10			8	2	3	2										37		
防災用品	カマセット	12																	171		
防災用品	カマセット	6	6			2	1												3		
防災用品	ホンダEM 400T	6				2	3												25		
防災用品	ホンダEM 750JH	9				2	3												37		
防災用品	ホンダEM 1500X	1				4	2	3	3										50		
防災用品	ホンダEM 2000X	17																	37		
防災用品	ホンダEM 2500EX																		16		
防災用品	ホンダEM U241																		30		
防災用品	ホンダEM U91																		26		
防災用品	3インチ																		26		
防災用品	4インチ																		98		
防災用品	電動																		17,700		
防災用品	ピニール	1,300				2,800	1,600	3,000											5,200		
防災用品	砂入り																		300		
防災用品	500W排水	194	17			29	20	24	10										138		
防災用品	1.5kw 10mm×100m	74	15			20	20	20	10										371		
防災用品	100m 6ハ1																		10		
防災用品	PP-B-2 200m 6ハ1	30	2			10	10	10	5										138		
防災用品																			213		

区分	種類	内容	宮下	仙波	名畑	苅谷	大東	橋原	岸町	仙波津	高階一	高階二	高階三	桑ヶ岡北	南古谷	備蓄品保管室	合計		
資機材	トラック	ソニー														総務課 8	8		
	無線機	YX FT102 7A無線機用														4A 11	11		
	ハンドマイク	トフ ER-66F	35	37	20	5	15	11								無線室 3	113		
	テント	ER-101SS 単 II 6 脚	18	4	3	6	5	2										289	
	一輪車	2K×3K 3K×4K			1	1	1	1										38	
	台車		4	2	2	1	1	1									114	126	
	リヤカー	折り畳み式	19	3	3	2	3	2				1	1	1	4	1	107	147	
	ブルーシート	3.0m×5.4m	680	540	290	330	260	150	100			100	100	100	250	100	3,000	6,000	
	バーナー	300cm×300cm×180cm	2															124	126
		H型	3	4	2	1	2	1	1								62	79	
		小便器	2	1	1	1	1	1	1								13	23	
			6	6	2	2	2										10	10	
		六角バケツ			1	1											10	12	
	簡易自立トイレ	サニタークリーン															144	144	
		スケターイレ (100枚/箱)	19	311	100	198	200	100									100	119	
		個人用簡易トイレ	166	8	2	1	2	2									4,889	6,272	
	ガソリン容積	ステアール缶 20L	158	28	33	12	14	8				14	17	2	2	2	15	120	
	コードリール	30m	61	58	36	57	88	30	36			36	36	24	30	24	256	587	
	スコップ	剣先	3									2	2	2			684	1,200	
	ゴムボート	4人乗り										2	2	2				10	
	防水型延長コード	表開閉用		14														14	
	救命胴衣	FR-101																50	
	高階救命器具	JK-18A																50	
	防水型 車 3 (4 脚)																	25	
	ヘッドランプ	ブリキ型	180	14	12	4	12	7				1	2	2	2	2	1,220	1,391	
大ハンマー	2.5・5.5kg	80	9	4	3	4	4				2	2	3	4	3	276	425		
カテヤ	徑角 120mm	90	9	4	3	4	4				2	2	2	2	2	138	262		
金子コ	22×1,200mm	88	20	10	5	10	5				1	1	5	4	5	300	482		
バール	800mm 全体焼入	19														50	70		
シガレット	5-7 ES-3235	5															5		
ストーブ	16費用	25															20		
ラジオ	FM・AM用	20															25		
担架	二つ折	10	5	5	5	5	5					3	5	3		113	136		
ハンカチ	トイレ・夏式室用	100														177	223		
脚立	椅子兼用	16															100		
災害用靴	マイルティート	20														1,100	1,120		
防じんマスク	無塵級じん用	40														2,200	2,240		
マスク	新型インフルエンザ用	7,000															7,000		
コークル	メガネ兼用可	10														550	560		
車椅子	ノーバンク仕様	1			11											55	67		
給水タンク	1m																12		
路上給水装置		8															18		
組み立て水槽	2.2t																3		
ポリタンク	200、180、102	188	110	40	38	70	42					20	30	20		1,100	2,368		
給水用ポリ袋	3L											200					32,000		
復旧用簡易管	10φ		1,050	900		600						200		1,050	200		8,100		
	各種																		

【資料 2.6】「備蓄品保管室整備状況」

備蓄品保管室整備状況

[平成 25 年 4 月 1 日現在]

地区	設置場所	階数	教室	年度	地区	設置場所	階数	教室	年度	
本 庁	月越小学校	プレハブ物置		19(7)	高階	高階中学校	1	半	10	
	新宿小学校	2	半	8		寺尾中学校	2	半	11	
	今成小学校	1	1/4	21(9)	福原	福原小学校	1	半	7	
	中央小学校	2	半	9		福原中学校	1	半	9	
	川越小学校	3	半	10	大東	武蔵野小学校	1	半	8	
	泉小学校	物置・体育館		11		大塚小学校	4	半	9	
	仙波小学校	1	半	13		大東東小学校	1	1/4	13	
	城南中学校	1	半	7		大東西小学校	プレハブ物置		14	
	富士見中学校	4	半	7	東	大東中学校	1	半	7	
	野田中学校	3	半	8		大東西中学校	1	半	8	
	川越第一中学校	3	教材室	12	霞ヶ	霞ヶ関小学校	2	半	7	
		川越第一小学校	プレハブ物置			15	霞ヶ関西小学校	4	半	8
		市立川越高校	プレハブ物置			16	霞ヶ関南小学校	4	半	9
芳野	芳野小学校	プレハブ物置		14	ヶ	川越西小学校	4	半	9	
	芳野中学校	プレハブ物置		14		霞ヶ関西中学校	3	全	9	
古 谷	古谷小学校	4	半	7	関	霞ヶ関中学校	3	準備室	12	
	教育センター	3Fエレベーターホール		22(9)		川越西中学校	体育館 2F		12	
	東中学校	2	半	9	霞ヶ 関北	霞ヶ関東小学校	4	半	10	
南古 谷	南古谷小学校	体育館		7		霞ヶ関北小学校	2	全	13	
	牛子小学校	3	半	8		霞ヶ関東中学校	1	全	7	
高 階	南古谷中学校	4	半	10	名 細	広谷小学校	4	半	8	
	高階小学校	4	全	7		上戸小学校	1	半	9	
	寺尾小学校	3	半	8		名細小学校	1	半	11	
	高階西小学校	2	半	10		名細中学校	2	半	7	
	高階北小学校	3	体育館	12		鯨井中学校	3	半	11	
	高階南小学校	2	半	13		山 田	山田小学校	3	半	11
高階西中学校	4	半	8	山田中学校	1		半	7		
砂中学校	1	全	8							

年度別備蓄品保管室整備状況

年 度	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
整備数(校)	12	10	10	5	5	4	4	3	1	—	—
活動拠点整備							川越 工業高校	県立 川越高校		市立 川越高校	

○H25年度4月1日現在

54校(整備済校) 未整備校:初雁中学校(宮下備蓄庫があるため)

55校(市内小中学校数) ※教育センター(旧古谷東中学校)を含む

※今成小学校H21年度、面積半減(もともと教室半分。更に半分)耐震工事と学童保育室面積増のため。

※古谷東小H20年度末廃校。H22年度より教育センター。この際3階エレベーターホールに移設

【資料 2.7】「備蓄品保管室の備蓄状況（1校当たり）」

備蓄品保管室の備蓄状況（1校当たり）

[平成 25 年 4 月 1 日現在]

区分	品名	数量	区分	品名	数量
食糧	カンパン	1,024 食	資 機 材	PPロープ	2 巻
	アルファ米	1,000 食		スコップ	12 本
生活必需品	毛布	100 枚		ハンドマイク	2 台
	日用品セット	200 人分		台車	2 台
	トイレットペーパー	500 個		リヤカー	1 台
	下着セット	60 人分		ブルーシート	50 枚
	大人用紙おむつ	45 枚		コードリール	4 台
	子供用紙おむつ	288 枚		ラジオ	2 個
	生理用品	420 個		組み立てトイレ	2 台
	ゴミ袋	500 枚		簡易トイレ	60 個
	軍手	10 対		ポリタンク	20 個
	使い捨てカイロ	100 個		ハンマー	5 本
	三角巾	50 枚		かけや	2 本
	ガムテープ	10 巻		金てこ	5 本
	懐中電灯	10 本		バケツ	20 個
	ダンボール箱	20 箱		担架	3 台
	乾電池（単 1）	20 個		災害用敷マット	20 枚
	資 機 材	カマドセット		3 セット	防じんマスク
発電機		2 台		ゴーグル	10 個
投光器		5 個		車椅子	1 台
トラロープ		2 巻	パーテーション	2 個	

災害用給水井戸設置状況

年度	設置箇所	金額	水中ポンプ	ポンプ出力	仕様	請負業者	備考	
昭和57	震ヶ関北小学校	10,300千円	50mm	3.7kW	ケーシング径 Φ200×100m	東京警泉㈱	No.1	
	高階南小学校						No.2	
	初雁中学校						No.3	
昭和58	野田中学校	9,350千円	50mm	3.7kW	揚水管 Φ65×2.75m×14本	三協工業㈱	No.4	
	山田小学校	9,000千円	50mm	2.2kW	発電機 10kVA 200V	㈱日さく	No.5	
昭和59	月越小学校	9,500千円	50mm	2.2kW	月越小・大東中のみ	㈱東さく技工	No.6	
	大東中学校	9,670千円	65mm	3.7kW	(商用電源併用型 200V)	東邦地水㈱	No.7	
昭和60	城南中学校	10,300千円	50mm	2.2kW		㈱日さく	No.8	
	川越第一中学校	55,414千円	50mm	3.7kW		㈱東さく技工	No.9	
平成7	高階北小学校	55,105千円	50mm	3.7kW	井戸の深さ 100m	㈱日さく	No.10	
	古谷小学校						No.11	
	南古谷小学校						No.12	
	芳野小学校						No.13	
	富士見中学校						No.14	
	名細小学校						No.15	
	震ヶ関小学校						No.16	
	仙波小学校						No.17	
	大東西小学校						No.18	
	川越西小学校						No.19	
平成8	川越市立高等学校	59,019千円	50mm	3.7kW	建屋 約12㎡	三協工業㈱	No.20	
	震ヶ関西中学校						No.21	
平成9	震ヶ関西中学校	37,800千円	50mm	3.7kW	発電機 防音型200V出力15kVA	東邦地水㈱	No.22	
	鯨井中学校						No.23	
平成10	鯨井中学校	20,160千円	50mm	3.7kW	水中ポンプ 200V	㈱アサノ建工	No.24	
	22箇所						No.25	
		349,908千円						No.26

川越市防災行政無線（固定系）放送施設放送項目一覽表

種 類	内 容	
緊急放送	東海地震のみ	判定会招集連絡報の伝達、警戒宣言命令の伝達、警戒宣言時の注意事項、他 地震情報の伝達、避難勧告・指示、避難時の注意事項、被害状況、被害状況、 避難所の開設状況、被災者の救護状況、応急給水の連絡、住民の安否情報、 ライフラインの復旧状況、混乱防止の呼びかけ、道路状況・交通機関の運行状況、 学校等の再開状況、他
	共通	
	風・水害	気象警報、水防警報、避難勧告・指示、他 上記地震に準じる
	火災	火災の発生報、火災の鎮火報、火災警報の発令、他
	光化学スモッグ	注意報発令（解除）の周知、警報発令（解除）の周知
	その他	人命に関する緊急事態の発生等（幼児等の行方不明等で警察から要請のあったもの、他）
	一般放送	防災に関する広報、交通安全運動のお知らせ、火災予防運動のお知らせ、選挙の啓発、断水のお知らせ、 農薬空中散布のお知らせ、他
音楽放送 1990年（平成2年） 6月1日 放送開始	期 間	4 月 1 日 ～ 9 月 30 日
	放 送 時 間	1 0 月 1 日 ～ 3 月 31 日 1 6 時 0 0 分
	曲 名	野 芭 拉 夕 や け こ や け

防災行政無線(固定系)年度別放送実績表

(平成26年4月1日現在)

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
1 台風・大雨関係(警報等)	2	7	2	3					4	4	2												1	1	2
2 災害発生後の放送			1	1																	5				
3 光化学スモッグ注意報(発令・解除)	20	12	28	6	18	16	12	18	8	18	58	36	30	33	28	30	22	40	16	11	25	16	6	6	16
4 行方不明者の発見協力依頼	2	1	1	4	4	4	1	4	12	5	8	9	13	10	20	13	5	16	20	15	42	58	52	66	66
5 その他															2	1					8	19	24	17	
6 災害未然防止(緊急地震速報等)					1																				
7 国民保護関係									3																
8 停電									2												38				
9 小計①	24	20	32	14	18	21	13	22	27	29	68	45	43	43	50	44	27	56	36	26	118	94	83	101	101
10 防災に関する広報(防災の日等)	1	1	1	1	1																				
11 交通安全運動のお知らせ	2	4	5	4	5	7	4	5	17	18	23	36	24	15	5	13	15	3			5	15	12	23	23
12 火災予防運動のお知らせ	2	2	2	2	2	2	8	4	3	5	4	4	4	4	4	4	4	4	6	4	4	4	17	4	4
13 防犯の啓発に伴うお知らせ														7	24	13	10		23	19	32	63	31	36	36
14 選挙啓発(投票の参加・棄権防止)			12	12	6	4	4		3	3					1	2		4	1	1	2	14	4	2	2
15 下校する子どもたちへの見守り啓発																		56	69	73	66	66	53	75	75
16 総合防災訓練 サイレン	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1													
17 総合防災訓練 開始																	1	1							
18 総合防災訓練 中止									1						2	3									
19 濁水対策								39																	
20 節水PR	1																				1				
21 音楽放送の変更	1																								
22 消防特別点検	1																								
23 その他															1							6			
小計②	9	20	21	14	9	14	55	10	24	27	28	41	28	26	37	35	86	81	99	97	116	175	104	140	140
計①+②	33	40	53	28	27	35	68	32	51	56	96	86	71	69	87	79	113	137	135	123	234	269	187	241	241

H10年度国民保護は、1件の逃走13件です。

※H22緊急放送その他は、熱中症注意呼びかけ。

※H22一般放送その他は、震災後の

節電呼びかけ、計画停電、水道水の安

※H22災害発生後の放送は、地震発生後の火の元点検の呼びかけ。

H 2 6 年度 外部評価 追加資料

情報伝達手段

現状整備済み情報伝達手段 ...整備年度

防災行政無線

防災情報メール

川越市ホームページ

全国瞬時警報システム（J-ALERT） ...H22 年度

防災行政無線電話応答サービス ...H23 年度

エリアメール（ドコモ） ...H23 年度

緊急速報メール（au） ...H24 年度

緊急速報メール（ソフトバンク） ...H24 年度

ツイッター ...H24 年度

災害用ブログ ...H24 年度

ケーブルテレビテロップ（J：COM 協定に基づく） ...H25 年度

その他広報車等も活用することができます。

H24 年度に防災ラジオ（防災行政無線の放送受信が可能なラジオ）を購入し、平成 2 5 年度に自治会長へ貸与したが、自治会長のみのため含めていません。

未整備のその他情報伝達手段例

個別受信機（防災ラジオ）

防災行政無線の難聴世帯では、室内で防災行政無線が聞こえるようになるため効果的。また、大型商業施設など管内放送と連携することも可能。

コミュニティ FM（地域限定の FM 放送局）

コミュニティ FM の運営元が必要となるが、地域へ向けた音声情報発信により、定期的に情報の発信が可能。また、設備投資により遠隔操作による割り込み放送も可能となるため、緊急の対応も可能。

公衆無線 LAN

災害時をはじめ、情報の取得が困難な外国人旅行者等が利用することで、必要な情報を自分で探して見つけることができるほか、インターネット経由で国際通信を行うことができる。

公共情報コモンズ

放送事業者や、新聞社など通信関連事業者が情報を利用できる公共情報コモンズに市町村の災害情報をまとめて提供することにより、メディアへの情報提供の効率化を図るとともに、広く災害情報を伝えることができる。

デジタルサイネージ

民間との連携や、人口が集中するポイントに設置することにより、視覚的な災害情報を伝達することができる。

情報伝達手段の周知方法

広報・市ホームページ・防災訓練・防災講話等で周知しています。

デジタル簡易無線の設置状況

デジタル簡易無線は、平成25年度の川越市自治会連合会からの寄付金により購入したもので、これまで通信手段がなかった地域防災拠点から避難所間をつなぐ通信手段として整備。また、自治会への貸出しによる啓発用としても活用しています。

地域防災拠点 14か所（市民センター＋中央・北・南公民館）

固定型デジタル簡易無線	1台	14台
携帯型デジタル簡易無線	1台	14台

各避難所 63か所

携帯型デジタル簡易無線	3台	189台
-------------	----	------

災害対策本部（本庁舎）

携帯型デジタル簡易無線	10台	10台
貸出用 デジタル簡易無線	10台	10台

合計
237台

防災情報等の放送に関する協定書

川越市（以下「甲」という。）と株式会社 JCN 関東（以下「乙」という。）とは、災害時や災害が発生するおそれがあるときの防災情報等の放送に関し次のとおり協定を締結する。

（趣旨）

第1条 この協定は、甲の市域において災害対策基本法（昭和36年法律第223号）第2条第1項に規定する災害（以下「災害」という。）が発生した場合又は発生するおそれがある場合、またこれに限らず市民生活の安定を図ることを目的として、川越市内で乙が運営するケーブルテレビ（以下「ケーブルテレビ」という。）を利用した災害情報や防災情報等の放送を行う業務の協力内容について必要な事項を定める。

（業務の内容）

第2条 甲は乙に対して必要に応じて防災情報等を提供し、乙は提供情報をもとにケーブルテレビで放送する。

【放送チャンネル：111ch（地デジ11ch）JCN 関東チャンネル】

その内容については次の各号に定めるものとする。

- (1) 災害が発生、又は発生するおそれがあるときの、甲の要請による緊急放送。
- (2) 防災行政無線等、甲が管理する自治体情報のデータ放送画面での文字表示。

（要請による緊急放送）

第3条 甲は、災害が発生した場合、又は発生するおそれがある場合について、災害情報を住民に伝達する必要があると判断した場合には、乙に対して速やかに災害情報を提供し、乙の番組編成権を侵害しない範囲で放送を行うことを要請することができる。

- 2 甲は、前項の要請を行う場合は、別に定める要請書（様式1）をもって行うものとする。ただし、緊急を要する場合には甲は乙に対し口頭により放送の要請を行うことができるものとする。この場合においては、要請後速やかに書面を送付するものとする。
- 3 乙は、甲より前項の要請があった場合には、その番組編成基準判断に基づき通常放送に優先して当該災害情報の放送を実施するよう努めるものとする。

（データ放送画面での文字表示）

第4条 甲は、データ放送画面での文字表示の必要があると認めたときは、乙に事前の承諾を受けることなく文字表示を行うことができる。

- 2 文字表示に係る手段及び方法は、甲乙が別途協議して定める。
- 3 文字表示の運用方法、各担当者については、必要に応じて別途定めるものとする。

（データ放送画面での文字表示を行う自治体情報の内容）

第5条 文字表示を行う自治体情報の内容は、次の各号に定めるものとする。

- (1) 甲が市民向けに発信する防災行政無線等の緊急行政情報全般
- (2) その他住民の生命又は財産の保全、市民生活向上に関わる事項

- 2 甲は、乙に対し、情報の正確性を担保するものとする。
- 3 第1項第2号に掲げる事項については、甲乙が協議のうえ、種類、内容等を必要に応じて別途定めるものとする。

(確認書)

- 第6条 甲及び乙は、放送の要請を円滑に行うとともに、放送を迅速かつ的確に行うために、相互の連絡責任者等を記載した確認書(様式2)を速やかに取り交わすものとする。
- 2 確認書の記載内容に変更が生じた場合は、速やかに相手方に通知する。

(経費の負担)

- 第7条 この協定に基づく災害情報等の広報に関する放送料等の費用については、無料とするものとする。

(協定内容の見直し)

- 第8条 甲及び乙は、この協定内容についての見直しを適宜行い、社会情勢等の変化に対応した内容になるよう努めるものとする。

(有効期間)

- 第9条 期間は平成25年8月26日から平成26年8月25日までとする。ただし、期間満了前までに甲又は乙のいずれからも書面によって協定の解除の申し出がない場合には、期間満了日の翌日から1年間、この協定を更新するものとし、以後この例によるものとする。

(協議)

- 第10条 この協定に定めるもののほか、この協定の実施に関し必要な事項、その他この協定に定めのない事項については、その都度、甲乙間で協議して定めるものとする。

この協定の締結を証するため本書2通を作成し、甲乙記名押印の上、各1通を保有する。

平成25年8月26日

埼玉県川越市元町1丁目3番地1

甲 川越市

川越市長 川合善明

埼玉県さいたま市浦和区常盤9丁目34番地8

乙 株式会社 JCN関東

代表取締役社長 日野廣生